

編集者：東災ボTimes編集委員会
編集長：生原 勇
発行人：上原 泰男
連絡先：東京災害ボランティアネットワーク
〒164-0011 東京都中野区中央5-41-18
東京都生協連会館3F
☎03-3380-1614 fax03-3380-1615
E-mail:office@tosaibo.net

東災ボTimes

いのちをつなぐネットワーク紙

平成23年(2011年)6月21日(火)
東京災害ボランティアネットワーク

東日本大震災特別号No.5



横山仮設で大食事会



子どもお年寄りもラーメンと炒飯とスイカヨーグルトに舌鼓？ スイカヨーグルトは？ 「すいかそのものを味わいたい」だって！



上：出前風景。下：津山食堂のご家族

6月16日午後5時、横山仮設（現在59戸、22戸増設中）そばの空き地はさながらちよつとしたお祭り広場となった。

この日、午後3時から、「お坊さんが被災者の思いに耳を傾ける喫茶店」Ⅱ「三陸海岸カフェ・デ・モンク」が開かれた。当地の曹洞宗大徳寺住職の橘智法氏の尽力によって開かれたもの。

5時から、橘住職の呼びかけに快く応じた地元津山食堂（被災のため休業中）のご家族総出で200食分のラーメンがふるまわれた。東災ボはラーメンをゆがくお湯を供給したほか、ほうれん草や薬味、炒飯200食分とスイカヨーグルト

200食を提供した。はじめは遠巻きに見ていた仮設の住民や近所のみなさんの輪も次第に狭まり、小鍋を抱えてラーメンや炒飯の配食の列に並ばれる姿もみられるようになった。東災ボ11期全チーム総出でかかったほか、つなプロのボランティアと連携協力しながら、さまざまな仕事を分担し、歩行困難なお年寄りを訪問しては「出前」もおこなった。

赤帽を見知った人たちも多くいて、気軽に挨拶を返しあう場面も。なにはともあれ次の一歩を踏み出した人々のはじめはおらずと、しかし次第に打ち解けていく様子は被災者の今を象徴しているように思えた。

応急仮設住宅の希望調査

団地名	建設可能個数	入居可能日(予定)
戸倉地区	50	
戸倉中学校(公募中)	35	直ちに入居できます。
水戸辺(公募中)	5	直ちに入居できます。
荒町	10	7月下旬~8月上旬予定
志津川地区	116	
廻館	30	7月下旬~8月上旬予定
袖浜	10	7月下旬~8月上旬予定
荒砥	30	7月下旬~8月上旬予定
大久保	10	7月下旬~8月上旬予定
小森	30	7月下旬~8月上旬予定
上の山	6	7月下旬~8月上旬予定
入谷地区	180	
岩沢(建設中)	43	7月下旬~8月上旬予定
童子下(建設中)	17	7月下旬~8月上旬予定
山の神平1	50	7月下旬~8月上旬予定
山の神平2	50	7月下旬~8月上旬予定
桜沢	20	7月下旬~8月上旬予定
歌津地区	65	
寄木	20	7月下旬~8月上旬予定
館浜	5	7月下旬~8月上旬予定
枅沢	20	7月下旬~8月上旬予定
港(一部公募中)	20	7月下旬~8月上旬予定
町外	200	
津山もくもくハウス	30	7月下旬~8月上旬予定
柳津若者総合体育館	70	7月下旬~8月上旬予定
南方イオン跡地	100	7月下旬~8月上旬予定

- ※1 計画団地は希望者の状況によって必要な戸数を建設します。
 - ※2 志津川地区の希望者は用地確保が厳しい状況となっていますので他の地区も含めて検討をお願いします。
 - ※3 希望者が10世帯未満は建設できない場合があります。
 - ※4 建設戸数が増減になる場合があります。
 - ※5 地区優先で行政区に申込みの方は提出する必要はありません。
 - ※6 6月18日(土)正午まで希望調査票を建設課まで提出して下さい。
- 問い合わせ先 南三陸町建設課 TEL 0226-46-1377 FAX 0226-46-2607
(南三陸町建設課作成)

南三陸町

揺れ動く被災者のこころ

応急仮設住宅への入居をめぐる

6月19日午後2時より、南三陸町役場仮庁舎会議室にて応急仮設住宅入居者抽選(第六次募集)が実施された。南三陸町役場建設課(応急仮設住宅入居申請受付について)によると、今回新たに着工した住宅及び追加募集住宅は、横山住宅2期(新規)が22戸、イ

オン南方店舗地55戸、以下志津川自然の家4戸、戸倉中グラウンド35戸、水戸辺地区(民有地)6戸、志小グラウンド7戸、志中グラウンド21戸、志高グラウンド2戸、吉野沢団地17戸、平成の森57戸、伊里前小グラウンド13戸、歌津中グラウンド12戸、港地区(民有地)13戸。南方仮設の55戸は、新規着工ではなく、5月23日時点の入居者決定済み200戸のうちの数字。つまり、行政によるさまざまな指導にもかかわらず辞退された人の数ということになる。避難所での声を拾うと、「子供の通学を考えると、仮設の場所を選んだのに、学校再開が来年に延びたから迷った」との声も。問題山積の仮設だが、被災者にとっては次への一歩。結果を待つその顔に期待と不安がよぎる。

南三陸町における東災ポの活動

志津川中学

12期ボラ初日。今回は男性3人。やや「驚き」をもって迎えられたようだ。仕事はランタンの充電、ふろ掃除にトイレ掃除。午後は、川崎健康隊による体操に参加したほか、ストーブの点検・給油、マット掃除、段ボールゴミ処理を行う。トイレ掃除中に「ありがとう」と声をかけられ、うれしかった。夏本番を迎えようとしており、衛生面への配慮が必要。相変わらず、支援物資のミスマッチが多い。

志津川高校

12期ボラ初日。本部会議にて自己紹介。施設案内を受ける。食堂にて子供4人と遊ぶ。その後プランター作りやアヤさん(元志高の英語教師)によるエアロビ教室に参加。昼食はKFCによるベトナム料理。おじいさんに誘われカフェへ。2時過ぎから水の運搬と避難所2階での葦藁の設置。「まっつー」「いまポン」(綽名)は子供たち5人と手品をしたり、宿題をみたりして時間を過ごした。

ベイサイドアリーナ組

6月17日より第二回の思い出の写真展示会(9月末まで)が始まった。場所は先回と同じ旧入谷中学校。17、18日は11期ボラが来場者案内などを務めた。12期ボラは、現在アリーナでの写真洗浄と乾燥・整理の仕事を担当している。初日の感想「洗浄すべき写真は大量にあっても、一枚一枚の写真の持ち主は一人であるので、非常に大きな責任を感じた」。2日目には、南米から大勢のボランティアも参加。

とよま町民運動会 南三陸町チームが優勝



6月19日登米小で開かれた第66回登米市とよま地区市民体育大会で

登米公民館・武道館に避難する南三陸町の皆さんの「南三陸町チーム」が見事優勝を飾った。ふれあい食事で顔なじ



みになったみなさんの、あるいは老骨に鞭打ち、あるいは若人らしい奮闘に万歳！



写真は全て阿部 一郎氏提供

うねりに乗って大河の

ことがある。北上川が横に流れていたとしたら、「東北」は存在しなかったかもしれない、と思えるほど、この川が縦に流れてくるとい

草してみました。

震災と津波の町から一日抜け出しイギリス海岸の河原をみつめながら思ったつれづれを

とよままちあるき その2



花巻を流れる北上川 (イギリス海岸にて)。1面号数下写真も同じ。

北上川は「人の手」をのみこみながら威風堂々と流れ下る

北上川は東北地方を北から南へと縦に流れ落ちる日本の河川の中では唯一の川だ。西から東か、東から西へと流れるのが日本の河川

の一般的な特徴といえる。なぜなのか、ぼくは知らない。ただ、北上山地が日本列島が形

ごとく巡礼の旅(三木成夫)を繰り返してきたのである。まさに「自然の一部」として。

宮城県北部 (登米市) の方言……登米市中田町浅水の方言を中心にして

方言	標準語	用例と解説
いずい	ミスマッチな状態で居心地悪い。	決して easy ではない。靴を左右逆に履くととっても”いずい”。「あのひとど、けんかすてがら、すこす、いずいんだなや」：あのひとと喧嘩してから、ちょっと気まずいんだよね。
いまづ	そのうち	「やがますねな、いまづに、すておく」：うるさいな、そのうちしとくよ。
おもしえ	面白い	「おら、みんなど、さげのむの、おもしえっちゃ」：ぼくは、皆さんとお酒なんか飲むの楽しいねえ。

登米市における東災ボの活動

ふれあい食事会日誌 (6月11日～19日)

日時	避難施設名	メニュー	食数 (参加者数)	ボランティア	備考
6/11 土	旧善王寺小学校	コンソメスープ 寒天フルーツ	約 140 食	10 期ボラ 5 名 事務局 4 名	戸倉中の授業参観日に合わせて米山の地元民によるカレーの炊き出し。お茶っこを中心に避難民とふれあう。
6/12 日	津山若者総合体育館	冷やし中華・ワンタンスープ・さくらんぼ	65 食 参加実数 58 人	11 期ボラ 4 人 事務局 3 人	地元ボランティア 5 名が協力。いつもそうだが、新規ボラ初仕事と大規模避難所がぶつかる初日、トラブルは仕方ない。
6/13 月	迫ふるさと交流館	同上	30 食	11 期ボラ 4 名 事務局 2 名	準備に入る前にお茶っこができる。ここはいつもながら落ち着いた雰囲気がいい。菅原のお母さんが若いころの写真を展示会で見つけたと、みんなに見せてくれた。
6/15 水	登米公民館・武道館	同上	約 70 食	11 期ボラ 4 名 事務局 2 名	「忘れ物が多かった」「被災者とふれあうことがほとんどできなかった」とボラ感想。
6/16 木	平筒沼 youyou 館	同上	23 食 実数 17 食	11 期ボラ 4 名 事務局 2 名	「実質 4 日目の調理でしたので、少し準備もスムーズにできたお蔭で避難所の方々とお茶っこすることができました」とボラ感想。夕方は横山仮設での大食事会。11 期ボラ全員集合でかかった。
6/17 金	豊里多目的研修センター	同上	約 35 食	11 期ボラ 7 名 事務局 4 名	本日も反省から。……ま、終わりよければすべてよしの姿勢でいこうぜ!
6/18 土	旧善王寺小学校	同上	40 食用意	11 期ボラ 4 名 事務局	「最終日に一番おいしい冷やし中華ができた」と自画自賛。
6/19 日	登米公民館・武道館	冷やしたぬきそば・稲荷寿司・ブルーベリーヨーグルト	約 130 食	12 期ボラ 7 人 事務局 2 名	「段取りはほぼ完ぺき」とボラリーダー。なぜ「ほぼ」か? 油揚げを忘れちゃった! 冷やしたぬきそばの汁つくりのための昆布と煮干しの買い出しを忘れたため、あるもので工夫、まーまーの味となった。

東北地方太平洋沖地震に係るプレス発表資料(6/15・17) 南三陸町HPより

●水道の復旧状況について

水道の復旧状況につきましては、水道管の漏水修繕を実施しながら、早期の復旧に取り組んでいるところであります。しかしながら、従来の水源が飲用に適さない状況にあることから、現在、多くの地区においては生活用水としてのみ使用が可能な「仮通水」の状態となっております。

町全体として配水を必要とする戸数は約 2,100 戸でありまして、このうち 1,600 弱の世帯に対して通水が完了しており、その割合は約 75% となっております。しかしながら、地区によっては依然として塩分濃度が水道水としての基準を超えていることから、飲用をお控えいただくようお願いをいたしております。また、未だ仮通水が実施されていない地区の住民の皆様におかれましては、ご不便をお掛けして大変申し訳ありませんが、復旧までいましばらくの間、お待ちをいただきたいと存じます。なお、各地区における 6 月 14 日現在の通水の状況は次のとおりです。

●仮設住宅につきまして

仮設住宅に関しましては、6 月 19 日 (日) に 264 件の抽選を予定しているところであります。当選をされた方につきましては順次入居をお願いしているところでありますが、事情により当選したにもかかわらず入居されない世帯は、前回の報告を含め 3 名となっております。(キャンセル 2 世帯増)。この辞退された仮設住宅につきましても早急に抽選を行いたいと考えています。今日現在の仮設住宅の入居状態は、横山住宅 57 戸 (100%)、自然の家 100 戸 (100%)、志津川小 54 戸 (100%)、志津川中 82 戸 (97.6%)、吉野沢団地 66 戸 (98.5%)、合計 98.5%。また、仮設住宅において、アリの発生や雨漏りの苦情が寄せられているところですが、補修等を終えて検査を行い引渡しを行ったところであります。今後においても仮設住宅の不備等については、早急に対応してまいりますので、そういった場合は建設課までご連絡をさせていただきますようお願い申し上げます。

編集後記

●とよま地区の町民運動会で南三陸町チームが優勝した。運動会が終わって、食事会にかけた人はなんと1つものふれあい食事会の倍の「人出」となった。さすがに泡を食いそうになった。●意気揚々と引き揚げてきた「チーム南三陸」の面々のお顔の晴れやかなこと。こちらまでうれしくなる。だが10食しか用意してない冷やしたぬきそばや稲荷、ヨーグルトがあつという間に消えていく。盛りを加減しながらなんとか間に合わせたものの、冷やしたぬきならぬ冷やたぬきになるところだった。●運動会の写真のデータを阿部一郎さんにお借りし返しに行った際、津波の写真見たかと問われ、見てませんと応え、当日の写真を見せながら阿部夫妻は建てたばかりの「百年もつ家」がふわりと浮いて崩れもせず流されていったときのことを語り始めた。